

中日形容詞の比較

尤 東旭

キーワード

機能 修飾 性質 テンス

0. はじめに
1. 中国語の形容詞について
2. 日本語の形容詞について
3. 中日形容詞の類似点
4. 中日形容詞の連体修飾
5. 中日形容詞のテンス
6. 中日形容詞の状態変化
7. 中日形容詞の並列
8. 中国語の形容詞の補語機能
9. 中日の感情形容詞
10. まとめ

0. はじめに

形容詞は中国語においても、日本語においても非常に重要な品詞である。中日の形容詞は同じように、述語、副詞、連体修飾語になれる機能がある。また、形態上、文法上において、それぞれの違いがある。中国人日本語学習者への日本語教授に役立てるために、本稿は中国語の形容詞と日本語の形容詞を中心に考察を試みる。

1. 中国語の形容詞について

まず、中国語の形容詞を見てみよう。形容詞について、李臨定著、宮田一郎訳『中国語文法概論』では「人及び事物の性質あるいは状態を表す単語を形容詞という」¹⁾と述べている。中国語が日本語と違って、形容詞や動詞は活用形がなく、決まった語尾もないので、語彙の形態上からの判定が難しく、文法機能と意味によって判断することが多い。形容詞は形態上において、大きく「単形式形容詞」と「複形式形容詞」の二類に分けられる。

朱德熙氏は『現代汉语形容词研究』(1956)では次のように述べている。「所谓

简单形式指的是形容词的基本形式，包括单音形容词（大，红，多，快，好）和一般双音节形容词（干净，大方，糊涂，规矩，伟大）。所谓复杂形式主要指以下各种成分：（1）重叠式，（2）带后加成分的形容词。」²⁾——简单形式とは形容词の基本形式を指し、単音節形容詞（大，红，多，快，好）と一般二音節形容詞（干净，大方，糊涂，规矩，伟大）を含むものである。複雑形式とは主に以下のものを指すものである。（1）重ね型形容詞（略）。（2）後ろに付加成分のつく形容詞（略）——筆者訳）。重ね型形容詞には二種類がある。红→红红的のように、単音節形容詞 A がだぶった AA 型である。红艳→红红艳艳のように、二音節形容詞 AB がだぶった AABB 型である。また、後ろに付加成分のつく形容詞は形容詞 A に接尾語 BB がつき、红+殷殷=红殷殷のような ABB 型になる。

中国語の形容詞の属性から見ると、性質形容詞と状態形容詞の二種類に分けることができる。朱德熙氏は「简单形式形容詞は単純の属性を表す。複雑形式形容詞の表す属性はある種の量や話者のこの属性に対する主観的判断につながるものである」³⁾と述べて、形容詞の形体と属性との関連性を指摘した。のちに《語法講義》(1982)⁴⁾において、简单形式形容詞を「性質形容詞」、複雑形式形容詞を「状態形容詞」とあらためた。

2. 日本語の形容詞について

一般的に日本語における形容詞は、活用のある独立した品詞で、物やことからの性質、状態などを表し、終止形が「い」で終わるものを指す。『国語学大辞典』は日本語の形容詞について次のように述べている。

「用言の中の一品詞名。事物の性質・状態を表す活用語で、動詞・形容動詞とともに用言に属する。単独で述語や連体修飾語になり、また、連体形が体言と同資格で用いられる点は動詞と同じ機能を持っている。」⁵⁾

また、『国語学大辞典』は形容動詞について次のように述べている。

「用言に属し、形容詞と同じく事物の性質・状態を表す語で、活用がある。機能は形容詞と動詞の性質を兼ね備えているが、語幹の独立性は形容詞よりも、さらに強い。」⁶⁾

形容動詞は形容詞と同じように物事の性質と状態を表す語であるから、八十年代から、特に日本語教育においては、形容詞として取り扱われる傾向が強い。西原鈴子ほか著『形容詞』（昭和 63 年 4 月）では「イ形容詞」、「ナ形容詞」のように分類される。つまり、形容動詞を形容詞と同じように形容詞と見て、語尾の活用から、「～い」の形で終わる従来の形容詞を「イ」形容詞とされ、連体形の時に語尾が「～な」の形になる形容動詞を「ナ」形容詞とされる。また、西尾寅弥著『形容詞の意味・用法の記述的研究』（1972）や飛田良文・浅田秀子著『現

代形容詞用法辞典』(1991)においては、「イ」形容詞、「ナ」形容詞のように分類はしていないが、形容動詞を形容詞と一緒に取り扱ったのである。本論においても、日本語の「イ」形容詞と「ナ」形容詞をあわせて、形容詞として取り扱うことにする。日本語の形容詞はこのような形態上の分類のほかに、性質上から、大きく属性形容詞、感情形容詞と分類することができる。

3. 中日形容詞の類似点

中国語と日本語の形容詞は次のような類似点がある。

a. 述語になる機能

中国語と日本語の形容詞は同じように述語として使えるシンタックス機能を持っている。英語の形容詞は be 動詞を伴わなければ、述語にはなれないが、中国語と日本語の形容詞は動詞と同じように単独で述語になれる。この点において、英語と大きく違っているところである。

- (1) 富士山很美。
- (2) 富士山很漂亮。
- (3) 富士山が美しい。
- (4) 富士山がきれいです。

日本語では動詞が目的語の後ろにつくが、中国語では動詞の語順が英語によく似ていて、目的語の前に置かれる。しかし、上の例に示したように、形容詞が述語になる時、中国語も日本語も語順が同じである。ただ、否定の表現の時、次の例のように、中国語と日本語の語順は少し違う。

- (5) 这山不高。 この山は高くない。
- (6) 房间不干净。 部屋がきれいでない。

b. 連体修飾語になる機能

中国語と日本語の形容詞は同じように名詞あるいは名詞句の前に置いて、それを修飾する機能を持っている。

- (7) 红的苹果。
- (8) 热闹的城市。
- (9) 赤いリンゴ。
- (10) にぎやかな都市。

連体修飾の時に、中日の形容詞は同じように、副詞の修飾を受ける。

- (11) 非常红的苹果。
- (12) 特别热闹的城市。

- (13) 非常に赤いリンゴ。
(14) たいへんにぎやかな都市。

c. 連用修飾語になる機能

連用修飾語になる。中国語と日本語の形容詞は副詞と同じように動詞あるいは動詞句の前に置いて連用修飾語として働く機能がある。日本語の形容詞はほとんど動詞の前において連用修飾語として使える。

- (15) 你快吃吧！
(16) 他静静地听着。
(17) はやく食べなさい。
(18) 彼は静かに聞いている。

日本語の形容詞は全部連用修飾語として使えるが、中国語の形容詞は連用修飾語として使えるものが非常に少ない。これは、中国語の形容詞には動詞の後ろにつく補語機能があるので、連用修飾よりむしろ補語としてよく使われるからである。

4. 中日形容詞の連体修飾

中国語の形容詞は語形や活用がなく、きまった形がない。それに対して、日本語の形容詞には「イ」形容詞と「ナ」形容詞がある。「イ」形容詞は「イ」が終止形で、連体形も「イ」である。「ナ」形容詞は「ダ」で終わり、「ナ」の連体形をもつ形容詞である。日本語の形容詞には活用形がある。日本語の形容詞は形態上と活用形から簡単に区別できるが、中国語では、活用と語形がないため、なかなか区別がつかない。

日本語の形容詞は連体修飾の時に、「イ」形容詞と「ナ」形容詞は連体形で名詞を修飾する。中国語の形容詞はそのままの状態では名詞に修飾できず、かならず「的」を形容詞の語尾につけなければならない。

- (19) 贵的书。 高い本。
(20) 红的苹果。 赤いリンゴ。
(21) 干净的衣服。 きれいな服。

中国語の形容詞にはこのような特徴があるから、中国人の日本語学習者は母国語からの影響を受けて、形容詞を連体修飾に使う時、よく形容詞と名詞の間に「の」をつける間違いをするのである。

- (22) ×赤いのリンゴ。 →○赤いリンゴ。

朱徳熙氏は《语法讲义》で形容詞の連体修飾について、次のように述べている。「性质形容词做定语修饰名词有带“的”和不带“的”两种格式，例如“新书”和

“新的书”，“大孩子”和“大的孩子”，“干净衣服”和“干净的衣服”。在不带的格式里，形容词和名词的配合受到限制，比如可以说“白纸”“白头发”，但是不能说或不大说“白手”“白家具”。」⁷⁾——性質形容詞が連用修飾語になる時、「的」がつくとつかない二種類がある。例えば「新书」と「新的书」、「大孩子」と「大的孩子」、「干净衣服」と「干净的衣服」である。「的」のつかない形の中で形容詞と名詞との組み合わせが制限されることになる。例えば「白纸」、「白头发」と言えるが、「白手」、「白家具」とは言えない。あるいはあまり言えないのである。——筆者訳)

上に示した朱德熙氏の「的」のつかない形容詞はもはや形容詞ではなくなり、形容詞から名詞になったと説明した方がよいのではない。例えば、

(23) 红的苹果。 赤いリンゴ。

(24) 红苹果 赤リンゴ。

「的」のつくものが形容詞で、「的」のつかないものが名詞であることは、日本語との対照でよく分かる。日本語の「赤リンゴ」と同じように、形容詞から名詞になったのである。この場合、副詞から修飾が受けられなくなるのは、性質が変わる何よりの証拠である。

(25) ○很红的苹果。

(26) ×很红苹果。

(27) ○很好吃的菜。

(28) ×很好吃菜。

日本語は語の形態から、形容詞、名詞などの品詞の区別がつくが、中国語で形での判別が全くつかないで、副詞の修飾を受けるかどうかで判断するのは一応の目安になります。また、朱德熙氏は「贵手绢」などのような言い方が非文法なのは「贵」と「手绢」は意味上では合わない⁸⁾と説明するが、実際、「红苹果」のように組み合わせが可能なのはその形容詞が名詞化されたからである。「贵手绢」のように非文法なのは形容詞「贵」が名詞化されていないので、「的」がつかなければ連体修飾になれないからである。

ちなみに、中国語では形容詞のほかに動詞の連用修飾も動詞と名詞との間に「的」を入れなければならないことが多い。このような場合、「的」は過去を表すのである。

(29) 我买的书。 私が買った本。

(30) 我买书。 私が本を買う。

(31) 我买了书。 私は本を買った。

(32) 我要买的书。 私の買う本。

このように、過去形について、中国語の動詞が述語になる時、「了」で表れる

が、連体形の時、「的」で表れる。連体形の現在、将来を表現するには助動詞「要」をつけ加える必要がある。例文(32)は将来を表すほかに、「私の買いたい本」という願望の意味もある。

5. 中日形容詞のテンス

日本語では「イ形容詞」→「～かった」、「ナ形容詞」→「～だった」のような過去形でテンスを表す。中国語では動詞「了」、「着」、「过」によってテンスやアスペクトなどが表されるが、形容詞は日本語と違って、それ自身には過去形を表すテンスがないのである。これは、日本語から見るとよく分かる。例えば、

- (33) 私はうれしい。 我很高兴。
(34) 私はうれしかった。 我很高兴。
(35) パーティがにぎやかだ。 宴会很热闹。
(36) パーティがにぎやかだった。 宴会很热闹。

例文に示したように、主語、述語しかない非常に短い文の場合、日本語の現在形と過去形に対して、中国語は同じような形で表し、区別できないのである。過去を表すために、次のように、表現しなければならない。

- (37) 私は昨日うれしかった。 昨天我很高兴。
(38) 昨日パーティがにぎやかだった。 昨天宴会很热闹。

このように、中国語の形容詞のテンスは、時間を表す副詞によって決められるが、それが伴わない場合は区別がつかない。形容詞だけでなく、英語の be 動詞に当たる動詞の「是」も同じ傾向がある。だから、次に示したように、中国語の判断文では時間を表す副詞を使ってテンスを表す。

- (39) 我是学生。 私は学生です。
(40) 我曾经是学生。 私がかつて学生でした。
(41) 我过去是学生。 私は昔学生でした。

日本語の「だ・です」は過去形を持っていて、時間を表す副詞がなくても、テンスを表すことができるが、中国語の「是」は時間を表す副詞を使わずに過去を表すことができないのである。上にあげた中国語の例文に対して、日本語は副詞を使わずに「でした」だけでも過去を表すことができる。中国語は次の例文に示したように、時間副詞を使わないと、過去が表せないのである。

- (42) 私は学生でした。 我过去是学生。

6. 中日形容詞の状態変化

日本語における形容詞の状態の表現について、西原鈴子ほか著『形容詞』には次のように述べている。「形容詞は状態や性質を表す言葉なので、それ自体で変

化を表すことはできない。そのため、動詞との複合や接尾語をつけることによって状態の変化を表す。」9)

(43) リンゴが赤くなった。

(44) 手続きが簡単になった。

中国語の形容詞も、日本語と同じように、形容詞自体で状態変化を表すことができないから、「了」をつけて表さなければならない。中国語では、形容詞+「了」について、いろいろな論争がある。動詞として取り扱う説もあれば、形転動詞つまり形容詞からの動詞転換形(李臨定 1993)として取り扱う説、動態形容詞(张国宪 1995)という説もある。動態形容詞のほうが理解しやすいと思われる。次の例文に示すように、中国語の形容詞+「了」に対して、日本語は同じように形容詞の後ろに動詞がつき変化を表す。

(45) 苹果红了。 リンゴが赤くなった。

(46) 手续简单了。 手続きが簡単になった。

また、このほかに、中国語では動詞「变」を形容詞の前につけて変化を表し、形容詞+「了」の文型の意味とあまり変わらない。

(47) 苹果变红了。 リンゴが赤くなった。

(48) 手续变简单了。 手続きが簡単になった。

形容詞+「了」だけで変化の過去形を表すが、将来形が表現できない。それを表すには時間副詞「要」、「快」、「就快」、「就要」、「快要」などが必要となる。「变」+形容詞で変化の将来形を表すことができるが、時間副詞をつけなくてもよい。

(49) 苹果要红了。 リンゴがすぐ赤くなる。

(50) 苹果快红了。 リンゴがすぐ赤くなる。

(51) 苹果变红。 リンゴが赤くなる。

(52) 天气变热。 天気が暑くなる。

(53) 手续要变简单了。 手続きが簡単になる。

このほかに、「红」、「弯」、「斜」、「低」「歪」などの少数のものに「着」をつけて、持続を表すことができる。

(54) 他红着脸说。 彼は顔を赤らめて言う。

(55) 他弯着腰。 彼は腰をかがめている。

また、「胖」、「瘦」、「清」、「混」、「冷」、「热」、「干」、「湿」などに「过」をつけて経験か一時的な状態を表すことができる。

(56) 前些天热过。 この前暑くなったことがある。

(57) 她以前瘦过。 彼女は以前瘦せたことがある。

张国宪(1995)は上記の「着」、「过」のつくものを動態形容詞と分類した。し

かし、このようなアスペクトを表すものは明らかに形容詞ではなく、動詞とすべきである。なお、訳文の日本語から見ても、ほとんどは形容詞から動詞に転じたことがわかる。

7. 中日形容詞の並列

日本語では二つの形容詞が同時に述語や連体修飾語などに使われるとき、イ形容詞は「く+て+形」、ナ形容詞は「で+形」の形で表す。例えば、

(58) リンゴは赤くて大きい。

(59) 部屋は静かできれいです。

日本語の形容詞はこのように基本的に「て」、「で」並列するが、少数の「イ」形容詞は連用形でほかの形容詞を修飾することができる。

(60) 速く激しく流れる水。

(61) 彼女はすごくきれいです。

(62) 彼はひどくうるさい人だ。

しかし、(61)、(62)の場合、もはや並列ではなく、程度を表す連用修飾語、つまり副詞と見てよいだろう。

中国語では形容詞は並列に使われる時に、「又」が必要なので、かならず、「又」+形容詞+「又」+形容詞の形で表さなければならない。「又」をつけないと、非文法になる。

(63) 苹果又红又大。 ×苹果红大。

(64) 又安静又漂亮的房间。 ×房子安静漂亮。

(65) 又粗又长的绳子。 ×粗长的绳子。

(66) 这件衣服又便宜又好。 ×这件衣服便宜好。

8. 中国語の形容詞の補語機能

中国語の形容詞は動詞の後ろにつき、その動詞の状態や程度を表す補語になる機能をもっているが、日本語の形容詞はこのような機能がない。形容詞が動詞の補語になる場合、かならず「得」の後ろにつかなければならない。また、形容詞は連用修飾の副詞より、補語としてよく使われる。

(67) 他跑得快。

(68) 他吃得多。

(69) 彼はよく食べる。

(70) 彼は速く走れる。

また、次の例のように、補語になる形容詞の前に、いろいろな副詞をつけることができる。中国語は日本語と違って、否定が副詞の前につく。

- (71) 他跑得非常快。
- (72) 他吃得特别多。
- (73) 彼はたくさん食べられる。
- (74) 彼はとても速く走れる。
- (75) 屋子里打扫得不够干净。
- (76) 部屋の掃除があまりきれいでない。

9. 中日の感情形容詞

西原鈴子ほか『形容詞』では日本語の形容詞の分類について、次のように述べている。「形容詞の中で特に主観的な感情・感覚を表現しているものを感情形容詞として分類することができる。」¹⁰⁾ 日本語の感情形容詞には使用する人称によって制限される特徴がある。つまり、ふつう感情形容詞は第一人称、第二人称に限って使われる。第三人称に対して、「そうだ」や「がる」をつけて使われる。感情形容詞のほか、願望助動詞「たい」も同じような制限がある。

- (77) 私は寂しい。
- (78) 彼は寂しがっている。
- (79) 彼は寂しそうです。

また、「うれしい」、「楽しい」「心配な」などの形容詞に対応する動詞が存在するので、第三人称にそれらが使われる。

- (80) 私はうれしい。
- (81) 彼は喜んでいる。

一方、中国語の感情形容詞は日本語のような人称の制限がない。次の例に示すように、同じ感情形容詞は第一人称にも、第二人称にも、第三人称にも使えるのである。

- (82) 我很高兴。 私はうれしい。
- (83) 你很高兴。 あなたはうれしい。
- (84) 她很高兴。 彼女はよろこんでいる。

中国語は日本語のように感情形容詞が発達せず、語彙数も日本語より少ない。中国語の感情形容詞には人称制限がないので、中国人日本語学習者は日本語の感情形容詞を間違えやすいのである。次のような誤用例は初心者だけでなく、中級レベルの学習者にもよく見られる。

- (85) ×彼女がうれしい。 彼女がよろこんでいる。
- (86) ×私がよろこんでいる。 私はうれしい。
- (87) ×彼は日本語が勉強したい。 彼は日本語を勉強したがる。

10. まとめ

以上の考察をまとめると以下ようになる。

- 1) 中国語の形容詞は性質形容詞と状態形容詞との分類をする。単音節形容詞や一般二音節形容詞は性質形容詞で、重ね型の形容詞と一部の二音節形容詞は状態形容詞である。性質形容詞は単純に人、物、物事の属性を表し、状態形容詞は明らかな描写性をもつものである。日本語の形容詞は形体上から見ると「イ」形容詞と「ナ」形容詞の二種類がある。性質から見ると、属性形容詞と感情形容詞と分けられて、統語機能それぞれ違う。
- 2) 中日形容詞の類似点
 - a. 述語になる機能。中国語と日本語の形容詞は動詞と同じように単独で述語になる機能がある。
 - b. 形容詞が述語として使われる時、中国語も日本語も語順が同じである。
 - c. 中国語と日本語の形容詞は副詞と同じように動詞あるいは動詞句の前に置いて連用修飾語として働く機能がある。
- 3) 中国語の形容詞はそのままの状態では名詞に修飾できず、かならず「的」を形容詞の語尾につけなければならない。中国語の「的」は日本語の連体助詞「の」の機能によく似ているので、中国人日本語学習者がよく「大きいのリンゴ」のような間違いをする。
- 4) 中日の形容詞はテンスの表現が違う。日本語では形容詞にはテンスを表す活用があるが、中国語では自身形容詞には活用形もテンスも表せない。形容詞がテンスを表すには時間副詞にたよらなければならない。
- 5) 日本語では属性形容詞と感情形容詞との二つに分けるが、中国語では性質形容詞と状態形容詞の二つに分ける。中国語の感情形容詞は数が少なく、日本語のような人称制限もない。そのため、中国人日本語学習者がよく第三人称において、間違えてしまうのである。

注釈：

- 1) 李臨定著宮田一郎訳 1993.6『中国語文法概論』光生館 p10
- 2) 朱德熙 1956《現代漢語形容詞研究》，『語言研究第一期』科学出版社，北京 p83

- 3) 同上 p57
- 4) 朱德熙 1982 《语法讲义》 商務印書館, 北京 p55
- 5) 国語学会編 1980.9 『国語学大辞典』 東京堂出版 p273
- 6) 同上 p274
- 7) 朱德熙 1982 《语法讲义》 商務印書館, 北京 p73
- 8) 同上 p74
- 9) 西原鈴子ほか著 1988.4 『形容詞』 荒竹出版株式会社 p33
- 10) 同上 p37

参考資料:

- 国立国語研究所編 西尾寅弥著 1972 『形容詞の意味・用法の記述的研究』 秀英出版
- 飛田良文・浅田秀子著 1991.7 『現代形容詞用法辞典』 東京堂出版
- 张国宪 1995 《现代汉语的动态形容词》 中国语文 1995 年第 3 期
- 大河内康憲 1997 『中国語の諸相』 白帝社
- 李宇明 1996 《非谓语句形容词的词类地位》 『中国语文』 1996 年第 1 期
- 沈家煊 1997 《形容词句法功能的标记模式》 『中国语文』 1997 年第 4 期

Abstract

Although there are differences in classification of adjectives between the Chinese and the Japanese languages, commonalities can be found too. For example, in both languages, adjectives can be used as a predicate; have the same word order, the same function in cases such as noun attributive-modifier, and circonstants. However, it could be said that there are some easy places, such as differences in tenses, and syntaxes in which Chinese native speakers tend to make mistakes while studying Japanese. The similarities and differences of the adjectives in the Chinese and Japanese languages were examined, to suggest new explanations to this problem.